

<p>目指す学校像</p>	<p>1 建学の精神 本学園は、日本国民としての常道に従い、人は生きて資本なりの理想に基づき、建学の精神を「人間是宝」と決めました。この精神は、生徒の将来を考え一人一人の内在する可能性をいかに開花させるかということにあります。この精神こそ、本学園建学の理念であり、本校教育の根源をなすものであります。建学の精神「人間是宝」校訓「今日学べ」の具現に努め、文武技芸四道の進学校を目指します。</p> <p>2 教育使命 若人の未来を考え、次のことを実践することを教育使命としています。 (1) 内在する可能性の開発 (4) 世界文化経済発展の先覚者としての自覚 (2) 創造する心と、知性の育成 (5) 平和世界に貢献する奉仕の心の育成 (3) 人間性豊かな徳操の涵養</p>
<p>学校教育目標</p>	<p>1 けじめある心を育てる 2 自己開発に努力する心を育てる 3 創意工夫する心を培う 4 敬愛と感謝の心を育てる 5 健全な体と心をスポーツと文化で育てる</p>

学 校 自 己 評 価							
年 度 の 目 標					年 度 評 価		
重点目標	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
<p>入学定員の確保と改善</p>	<p>学則定員は、各学年120名、3学年合計で360名であり、現在343名である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●志願者数の増大 ●入学定員の遵守 (98%~105%) 	<ul style="list-style-type: none"> ●志願者の増加と質の向上を目指す <ul style="list-style-type: none"> ・学校説明会 年3回 ・入試説明会 年6回 ・体験学習会、入試問題学習会の実施 年3回 ●入学定員の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・入学試験の改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●受験者数の増加と合格偏差値の向上 ●入学定員の厳守 	<ul style="list-style-type: none"> ●学校説明会は、3回実施。のべ293人が来校、入試説明会は6回実施。のべ1113人が来校。体験学習会、入試問題学習会は通算3日実施。727人が来校した。 ●受験者は、のべ1920人であった。 ●入学予定者は、115名で予定数に近い人数で終了した。以上の取り組みにより、合格者の定員確保と昨年以上の質の向上が図れた。 	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●学校説明会、入試説明会、体験学習会等学校を知るための内容について工夫・改善を図り、効率を高める必要がある。 ●これで、生徒数は、350名となり、ほぼ定員数となった。
<p>学力の向上と進路指導の充実 —一貫部—</p>	<p>中高一貫部の大学の進学率は向上しているが、国公立大学・難関私立大学の進学実績が伸び悩んでいる。文武技芸四道の進学校をめざし、ことに一貫部については、学習指導・進路指導を充実させ、国公立大学の進学実績を向上させることが課題である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●学力向上の具体的方策 ●新教育過程の授業展開の研究と移行措置の内容の理解の充実 ●国公立大学・難関私立大学の進学実績の向上(一貫部) 	<ul style="list-style-type: none"> ●客観的な学力の確認と学習法の確立 ●大学進学推進センターの設置と活用 ●生徒カルテ(夢実現シート)の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ●入試センター試験受験者割合 ●国公立大学・難関大学合格者数 ●大学進学率の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ●国公立2名、慶応1名、早稲田2名、東京理科6名 MARCH6名、他多数の現役合格を果たした。 ●一貫部の大学進学率は、88.8%であった。 ●1年間の成果として、全体の偏差値は着実に向上している。 	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●国公立大学・難関大学合格者数の具体的な目標値を設定し、授業内容の研究・改善及び進路指導を充実させる。 ●改善をより一層進め、高校2年次終了時点での基礎学力の向上・完成を目指す。 ●中高一貫のカリキュラムの精査・改善を行う ●ゆるやかな先取り学習によって、中学校の確実な基礎学力を培い、中学校3年生1学期には高校の内容を指導する。
<p>部活動の充実</p>	<p>開校して10年となり、部活動の数も運動部24部、文化部8部で活動している。部活動を充実させ、関東大会・全国大会等に優勝な、多くの選手を出場させることが、さらに求められる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●全国大会・関東大会への出場数 ●部活動への支援体制の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ●特に秀でた生徒の確保 ●指導力のある教員の確保 ●指導体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ●全国大会出場部数5部以上 ●関東大会以上出場生徒数30名以上 	<ul style="list-style-type: none"> ●全国大会出場部数8部 ●全国大会優勝生徒数7人 全国大会1~3位入賞生徒数47人 関東大会1~3位入賞生徒数11人 ●評価指標を大きく上回ることができた。 	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●部活動の奨励とともに全国大会・関東大会で活躍できる生徒の育成に努力する。 ●運動部、文化部の全てに関東大会・全国大会等の出場には、遠征費を全額補助しているが、この金額を維持することが課題である。

○達成度 A: 充分達成 (100%) B: 概ね達成 (80%程度) C: 変化の兆し無し (50%前後) D: まだ不十分 (30%程度) E: 方策の見直し (20%未満)